



真宗高田派本山 専修寺

高田

本山だより

令和6年春号

137



高田本山 HP

令和6年春号（第137号） / 発行・令和6年3月10日 / 〒514-0114 三重県津市一身田町 2819 番地 TEL 059-232-4171 www.senjuji.or.jp



# 「竹あかり」でお七夜をお迎え

お七夜とは宗祖・親鸞聖人のご命日である1月16日をご縁にして厳修されます。1月9日から16日までの七昼夜にわたっての法会なので「お七夜さん」の名で親しまれています。

今回のお七夜は東海最大規模の竹あかり「お七夜竹あかり展」にてお迎えいたしました。全国からたくさんの方々にお参りいただき、お念仏と喜びの声があふきました。



# 鬼と阿弥陀さま



「慚愧(ざんき)の念に堪えない」

この言葉、私たちの日常では、あまり使われない言葉です。もっぱら、マスコミを通して見聞する言葉です。そして、その意味は、総じて「罪を恥じること」として使われています。

元来、この言葉は仏教由来の言葉でありました。「慚」と「愧」は別々の意味を備えた言葉でした。「慚」は、自らが犯した罪をその心に恥じることであり、「愧」は、他人に對して、犯した罪を告白することであります。そして、それらを縁として、罪をつくらない、罪をつくらせないことへと繋(つな)げていく意味を備えた言葉であります。親鸞聖人は、この言葉を大変重くみておられました。『正像末和讃(愚禿悲嘆述懐)』第四首では、

無慚無愧のこの身にて

まことの心はなけれども  
弥陀の回向の御名なれば  
功德は十方にみちたもう

と著され、聖人御自身が「慚」「愧」の意味を重々ご理解されていて、それを罪悪深重の凡夫として、どこまでも「無慚」「無愧」あると内省され、故に阿弥陀様から回向されたお念仏がどれほど有難いのか、どれほど尊いのかについて、私たちに示しになられています。

ここで今一度、「慚愧」の言葉をふりかえりますと、その充てられている漢字が「りっしんべん」に「鬼」を「斬る」となっています。

四年前、日本邦画史上最高の興行収入となる映画が上映されました。『鬼滅の刃』というアニメ映画です。もともとは、週刊連載漫画

雑誌に掲載されていた漫画でした。短くあらすじを申しますと、主人公と妹以外の家族全員が、鬼によって帰らぬ人とされ、その生き残った妹も鬼にされることで、仇討ちと妹の救済のために、鬼討伐の組織の隊員となって戦っていく物語であります。そう申しますと、勸善懲惡の痛快な内容かと思われたかと思いますが、実は、主人公は鬼を退治するたびに自省を繰り返します。

「鬼はもともと自分と同じ人間だったんだ」「自分こそが鬼だったかもしれない」「もしどこかで鬼になつたら、その時は斬ってください」と。

ましてや、人間の記憶を時折蘇らせる妹の姿をそばでみていることもあるのでしよう、鬼退治をした英雄気取りよりも、縁さえあれば、いつかは鬼に墜ちるという自戒の姿に、多くの方々の共感があったように思います。

南無阿弥陀仏をとなうれば

四大大王もろともに

夜昼つねにまもりつつ

よろずの悪鬼をちかづけず

御本山御用達

## 鍵長法衣仏具店

京都市下京区油小路正面東入(中央局区内)  
電話 (075) 371-0854・8181~2番  
FAX (075) 344-2701番  
振替口座・0170-3-972番 郵便番号600-8344

創業1586年

## 松井建設株式会社

取締役社長 松井隆弘  
執行役員支店長 野村守宏

本社 東京都中央区新川一丁目17番22号 ☎03-3553-1150  
名古屋支店 名古屋市中区栄五丁目28番12号 ☎052-249-4771



この和讃は、親鸞聖人の『浄土和讃（現世利益和讃）』の第六首です。現世利益と聞けば、何か神仏にすがれば、その願いが叶うようなイメージがありますが、親鸞聖人は迷信の類いを嫌われたかたです。凡夫の思う、浅はかな目的のための「条件」としてお念仏を称えなさい、とはおっしゃっていません。

では、この和讃の真意とは。それは、お念仏を称えるときはいつも阿弥陀様がいらしてください。さらに、阿弥陀様の第17願の願意にもあるように、そこには十方の諸仏さまを伴っていらっしゃる。ゆえに、無慚無愧の身であればこそ、他の鬼と群れることなく、安心して念仏申し上げなさい、と。

鬼より怖い所業をするのは、他でもない人間であること。その人間の中に、自分自身が含まれていること。だからこそ、阿弥陀様がいつもどこまでも、私のそばにいらしてください。節分の日を過ぎしながら、あらためて思った次第であります。合掌

和歌山市 崇賢寺住職 松田信慶

### 浄土真宗なんでもQ&A

### 浄土真宗の教え

「阿弥陀さまとお釈迦さまは どういう違いがあるのですか」と尋ねられたことがあります。そんなことを思われたことはありませんか。

「阿弥陀さまとお釈迦さまはどういう違いがあるのですか」と尋ねられたことがあります。そんなことを思われたことはありませんか。

毎年四月八日に、お釈迦さまの誕生を祝う花まつりという行事があります。お釈迦さまはおよそ二千五百年前に、北インドの釈迦族の王子として生まれました。やがて誰もが避けられない「生老病死」の四つの苦しみの事実を知り、

その苦しみ悩みから解放される道を求めて、王子の位を棄てて、城を出て修行者となりました。そして、真理のはたらき（法）に目覚められた人（佛陀）になられ、釈迦族の尊い聖者（釈尊）と呼ばれたのです。一方、阿弥陀さまは、歴史上の人物ではありません。いつでも、どこでも、誰の上にも、はたらいっている法が、私たちを救うために顕れてくださった佛さまです。この阿弥陀さまのはたらきをあ

きらかにし、私たちが救われる道を説いてくださったのが、お釈迦さまです。その説かれた教えを後に、お弟子の方々が文字に書き残したのが、お経なのです。親鸞聖人は『正信念仏偈』（正信偈）で「如来所以興出世 唯説弥陀本願海」と、お釈迦さまが、人のすがたをもつてこの世に誕生してくださったのは、ただただ私たちを必ず救う、という阿弥陀さまの願い（本願）をお説きするためであったのだといただきました。お釈迦さまは、すべての苦しみ悩むいのちに「阿弥陀さまの本願に目覚めなさい」とすすめる方です。そのすすめに、それぞれが、阿弥陀さまの本願に目覚めて救われて

日本古来より伝わる土壁の家づくりと伝統建築の保護・再生  
土壁・漆喰・電の伝統技術を守り継承していきます



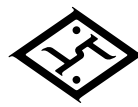
Sochikusya Co.,Ltd

〒510-0031 三重県四日市市浜一色町 16-35

TEL 059-332-1444 FAX 059-344-2627

E-mail : [souchikusha@gmail.com](mailto:souchikusha@gmail.com) URL : <https://tutikabe.net/>

法衣・仏具製造及び販売



井筒法衣店

代表取締役社長 今開規代

●本社

600-8468

京都市下京区堀川通

新花屋町角(西本願寺前)

Tel 075-351-1234

0120-075-720

Fax 075-341-7905

●東京店

160-0008

東京都新宿区四谷

三栄町十四番地三二

Tel 03-3358-1500

Fax 03-3359-8902

オンラインショップはこちらから →



いくのです。

親鸞聖人は、お手紙の中で「この真信心のおこることは、釈迦弥陀の二尊のおんはからいより、おこりたりとしらせたもうべし」とお釈迦さまと阿弥陀さまの名を並べて尊ばれました。私たちは、お釈迦さまの教えを通して、自らの生き方を見つ

め直し、自らも目覚めた人になることを阿弥陀さまから願われているのです。そのようなことを浄土真宗では「二尊の教え」といわれています。お釈迦さまが教えを説いてくださったからこそ阿弥陀さまのおこるに出遇うことができるのです。う。

(教学院第三部会)



阿弥陀と釈迦

「燈炬殿だより」  
『影印翻刻現代語訳顯正流義鈔』  
出版記念

## 真慧展

会期：2024(令和6)年3月14日(木)～5月6日(月)

今回の展示のタイトルは、『影印翻刻現代語訳顯正流義鈔』出版記念 真慧展 と少し長いのですが、その訳を述べさせていただきたく思います。

この度、2023(令和5)年3月31日に高田短期大学仏教教育研究センターより『影印翻刻現代語訳顯正流義鈔』が出版されました。真慧上人は、高田派中興の祖と呼ばれ、専修寺が一身田の地に建立される基盤となる教化活動をなされた方であ

り、そのご活躍により現在の本山専修寺があります。『影印翻刻現代語訳顯正流義鈔』は高田派の教学の指標ともいえる真慧上人の名著『顯正流義鈔』を、高田派檀信徒の皆様をはじめ、多くの方々に読んでいただけるよう、厳密な推敲を重ねて現代語訳されたものです。高田派にとって大きな意味を持つ本書ですが、その出版に至るまでは、構想以来24年に及ぶ膨大な歳月とご苦労があったと伺っております。ま

さに現在の高田派教団にとっての一大事業でありました。

宝物館のスタッフ一同は、何としてもこの一大事業完成を記念するとともに、真慧上人のご業績をもお讃えする行事を催したいとの思いから「真慧展」の開催を企画いたしました。幸い、仏教教育研究センターには、ご快諾いただき、多大なご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

今回、展示品の選定にあたって、真慧上人ゆかりの様々な法宝物が、あちこちの寺院で大切にお守りつがれていることを再認識いたしました。真慧上人ご在世の時代から五百年以上の歳月が経ってなお、真慧上人の行跡が尊び敬愛されていることの証と大変感銘を受けました。

Mieライズ

毎週(月)～(金)  
夕方5時40分から生放送

三重の話題を  
どこよりも幅広く、  
詳しく深掘りして  
“三重のとれたて情報”  
を生発信!

メッセージはこちらから→

ええじゃないか  
～いい旅いい発見～

毎週月曜日 よる7時  
(毎週土曜日 12時再放送)

YouTubeで見逃し配信も!

公式ホームページをチェック。 三重テレビ ええじゃないか

MTV 三重テレビ放送

達用御山本  
御推會 仏教三重  
石 碑  
記念碑 燈 籠

高級御影石専門店

御影石材株

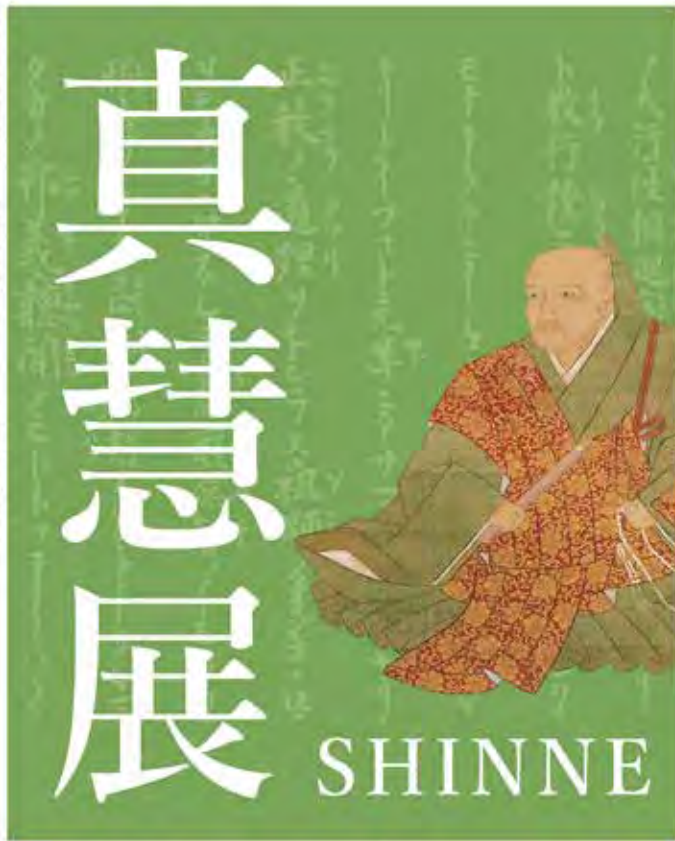
(石に御用の方は) イシニゴキョ

☎0120-142540

本店 津市広明町(影見寺門前)  
☎059-224-1700(代)



『影印複製 顕正流義鈔』出版記念



3/14 木曜日 - 5/6 月曜日

【休館日】毎週月曜日（3/18、4/8、4/29、5/6 は開館）、4/30（火）



ありがたいことに、展示予定の貴重な法宝物は、所蔵寺院さまから借用をご快諾いただきました。そのおかげで、ご自筆の書籍をはじめ、ご使用品と伝わる品々を豊かに展示することができました。是非とも「真慧展」をご覧ください。真慧上

人の尊いご行跡の一端に触れていただきませう心からお願ひ申し上げます。借用をご承諾いただきました皆様には心よりの感謝を申し上げます。

高田派本山専修寺宝物館

燈炬殿 館長 大野照文



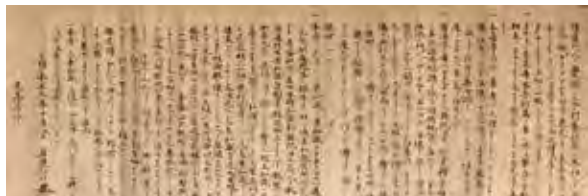
燈炬殿お七夜特別展館  
燈炬殿では「お七夜特別展観」が行われ、たくさんの方々が来場がありました。



お剃刀（正保院 納所道場蔵）



顕正流義鈔（西岸寺蔵）



永正規則（浄光寺蔵）

人口減少社会へ突入した地域に必要なのは「お寺」だと思う。

方言から生まれる小情報発信や  
P2P-Netをポイント！

三重に暮らす・旅するWEBマガジン  
OTONAMIE

otonamie | 14,500フォロー突破！  
mail otonamie@gmail.com | 059-268-3538 (壽印刷工業株式会社)



お寺の実績  
紹介記事

お寺とともに  
地域をつくる。

永田文昌堂

最新刊

① 釈迦牟尼仏陀伝  
～初転法輪への道～  
富尾 武弘著 定価3,850円(税込)

本書は、『方広大莊嚴經』に基づき、仏陀の伝記であるボロブドゥール寺院の百二十面全ての浮彫パネルを、釈迦伝の全容を示すものとして解説する。釈尊の成長に合わせ、種々な体験等を経て、大乗仏教成立に至る過程、「初転法輪」迄を解説する。

京都市下京区花屋町通西洞院西入 TEL 075-371-6651 FAX 075-351-9031

最新刊

② 『大無量寿経』読本 一  
北塔 光昇著 定価1,320円(税込)

『大無量寿経』を初めて学ぶ方々にも、話し言葉で簡易に読める解説書。読みやすい分量に数回にわけて、『大無量寿経』を味わう。今回の読本一は、『大無量寿経』を読み進めるに当たって必要な基礎的知識を中心にまとめる。



# お七夜大盛況

コロナ禍も少し収まり、本年のお七夜（報恩講）は往年の賑わいをとりもどし大盛況。その模様をお伝えします。

## 御影堂行事

### 日中・御親教・復演

1月15日は御影堂で御親教と復演が行われました。



### 国宝御影堂特別拝観

御影堂において、国宝御影堂特別拝観が行われました。普段は入ることができない中陣からの参拝に、多くの方が喜ばれました。



### お七夜婦人連合会

1月11日はお七夜婦人連合会が行われました。速夜勤行のあと、岡崎市浄泉寺住職戸田恵信師のお説教を聴聞いたしました。



### 責任役員会

1月13日には責任役員会が行われました。200名の参加がありました。

## 布教伝道

### 特別講演

13日は四日市市誓元寺の栗原妙直師が『遠く宿縁を慶べ』の講題で、14日には鈴鹿市善昌寺の金信玄昌師が『両重の因縁―光明、名号、父母―』の講題で、それぞれ講演いただきました。」



### 大講堂説教

お七夜期間中は毎日、大講堂で大講堂説教や、布教師主催の布教大会が開かれ、毎回熱心なご聴聞がありました。





## 竹あかり

今回のお七夜竹あかりは竹あかり作家の川瀬皓平氏による作品と、子供たちの竹あかり約2、000本が展示され、東海地区最大級の規模となりました。1月15日の夜は23時頃までたくさんの参拝がありました。



## 献書展

お七夜の献書展は719点の参加がありました。遠く北海道からの作品もあり、多くの方にご覧いただきました。



## 魯あす香氏

### エレクトーン特別演奏会

1月14日18時から、魯あす香氏によるエレクトーン特別演奏会が御影堂にて開催されました。境内の竹あかりに呼応するかなのような素晴らしい演奏に、多くの参拝者は魅了されました。



青少年育成

## ののさま展

お七夜期間中には御対面所におきまして「ののさまを描こう展」が開催され、仏教保育園16園から、園児の描いた399点ものかわいい仏様の絵が展示されました。



## 御参廟

御参廟が行われました。寒い風にも関わらず、多くの参拝がありました。



御非時  
用度講(食堂)でのお非時も復活。ご飯を5杯もおかわりする人もいたそうです。



物産展  
人も戻りつつあるのか、高田会館の物産展も多くの入出で賑わいました。

山内の様子

# 写生大会

期間：令和6年3月16日(土)～4月7日(日)

高田本山で絵をかきましょー！！



## ■写生大会のご案内

(詳細は高田本山HPをご覧ください)

・令和六年三月十六日(土)～四月七日(日)  
 場所：高田本山 境内(提出期限は最終日の15時です)  
 時間：期間中、各日・九時から十五時まで宗務院にて受付  
 対象：幼児から中学生まで(本人が描いたものに限りま)す)  
 (高校生以上も可能ですが、審査対象外での受付となり  
 ます)

後援 中日新聞社、一身田商工振興会、高田会館

## 新刊案内

### 『なもあみだぶつ』を聞く」ということ

栗原廣海著 500円(税込み)

総合案内所  
にて販売中

『本山だより』に連載されておりました栗原廣海先生の『なもあみだぶつ』を聞くということ」が、読みやすい本になって発刊されました。お念仏のよき友として、また御寺院での聞法会・輪読会のテキスト、法会のお扱いとしてご活用ください。



## 法会・行事案内

- 写生大会 三月十六日～四月七日
- 中学生教化合宿 三月三十一日～四月二日
- 讚佛会 三月十七日～二十三日
- 千部法会 四月六日～十一日
- 十万人講法会 四月九日～十日
- 戦没者追弔法会 四月十一日
- 花まつり 四月二十一日
- 興学布教研究大会 四月二十九日
- 堯禎上人御正當 五月六日～八日
- 開山親鸞聖人降誕会 五月二十一日
- 第五十七回高田派婦人連合大会 六月二日
- 高田派青年の集い 六月二十九日～三十日

## こんな行事がありました

### 真宗教団連合三重県支部より

2月20日(火)「教団連合三重県支部親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年・真宗教団連合結成50周年・同三重県支部50周年記念公演」として、劇団前進座『花こぶし』親鸞聖人と恵信尼さま」が、津リージョンプラザお城ホールで開催されました。三重県内で観劇できる機会はなかなか無いためか、ほぼ満員の大盛況でした。



撮影・金井恵蓮

### 防火訓練

文化財防火デーに合わせて、1月25日(木)に高田本山でも防火訓練が行われました。昭和24年1月26日に、現存する世界最古の北像建造物である法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに、基づいています。



高田本山をデジタルでお楽しみ

YouTube  
専修寺チャンネル



どこでもつながる国宝彫刻群

高田本山 デジタルブック

検索



<http://www.senjijuku.jp/nihonhata/digitalbook/index.html?pn=C=1>